

おかげさまで4月20日、無事、シンポジウムを終えることができました。参加者は約100名でした。ご講演下さったみなさまと、ご来場くださった方々に、心より御礼申し上げます。アンケートには約3分の1の方が回答を寄せてくださいました。その中から代表的なものを以下にご紹介いたします。

- ・本田先生のお話、大変よかった。
- ・利用者さんとの関わりについてのエピソードが興味深かった。
- ・本人らしく生きることを支える「きぼうのいえの」持ち味が伝わってきた。
- ・きぼうのいえは在宅ホスピスとしてもっと社会に発信してほしい。
- ・今後第2、第3のきぼうのいえが増えていくことを願っている。
- ・これまでと変わりなく、ここに生活する人たちの家族としてのご活躍を期待する。
- ・パネリスト同士、パネリストと会場のセッションがあるともっと深まったと思う。
- ・きぼうのいえでのボランティアに関心があります。

尚、きぼうのいえでボランティアするにあたり、結核の対応に関するご質問がありました。結核については、公益財団法人結核予防会のホームページにわかりやすい説明がありますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

→公益財団法人結核予防会 結核について 結核 Q&A

[https://www.jatahq.org/about\\_tb/qa](https://www.jatahq.org/about_tb/qa)

また結核を発症し、排菌している方は入院になりますので、きぼうのいえの入居者の中に排菌している人はおりません。過去に結核を患った方、結核患者との接触があり接触者検診を受けている入居者は時々おり、そのような方は保健師の指導のもと定期的にレントゲン検査を受けていますので、感染の危険はありません。

結核を予防するうえで大切なことは、健康的に生活して免疫力を下げないこと、定期検診をきちんと受けることだと思います。

今後ともきぼうのいえをどうぞよろしく願いいたします。

